

患者さんへ

「オキシコドンの薬物相互作用と副作用に関する研究」について

現在、筑波大学附属病院薬剤部では、オキシコドンを服用している患者さんを対象に、副作用の調査研究を行っております。内容については、下記をご覧ください。

この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】までご連絡下さい。

研究の意義・目的・方法

オキシコドンは、強い痛みを和らげる薬として、広く使用されています。一方、最近の研究により、飲み合わせの悪い薬剤との併用や患者さん個々の素因などによって、副作用が強くなる可能性が考えられております。我々は、オキシコドンの安全かつ有効な使用方法を確立するために、オキシコドンを使用している患者さんを対象に副作用の調査研究を行っております。具体には年齢、性別、体重、疾患、薬剤の用法用量、併用薬剤、検査値、血圧、脈拍、尿量などを診療録（カルテ）より調査し、これらとオキシコドンの効果や副作用との関連性について検討を行います。

研究対象者

当院で2008年4月1日～2023年11月30日の期間に、オキシコドン（商品名：オキファスト®注、オキシコンチン®錠、オキノーム®散、オキシコドン徐放錠など）による治療を受けた患者さん

研究期間

倫理審査委員会承認後～2024年3月31日まで

個人情報保護の方法

診療録より得られた情報は、氏名やIDを記載する代わりに本研究用に新たに登録番号を設けてそれを付記し、患者さん個人を特定できない形で研究者がパスワード等によるログイン機能を付加した特定のコンピュータ内でのみ保存します。また、データ解析作業は同部内および同室内に限定し、解析後のデータ（図、表など）以外は附属病院から持ち出しません。調査がしたデータは、研究終了後10年間保存の後、廃棄いたします。

保有する個人情報に関する利用目的、開示手続

この試験から得られた成績は、まとめて学会や専門雑誌での発表に使用されますが、いずれの場合にも、名前や生年月日、住所など個人を特定できる情報は一切公表されずプライバシーは十分に守られます。

研究参加の取り止めについて

ご自身が調査対象であるかを確認されたい場合は、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。調査対象となっている場合、お申し出によりいつでも対象から外れることは可能です。

研究責任者

筑波大学医学医療系・筑波大学附属病院薬剤部 本間 真人

問い合わせ窓口

研究担当者：島田 浩明（薬剤部・薬剤師）

連絡先：筑波大学附属病院

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-896-7165（薬剤部調剤室、平日 8 時 30 分～17 時 15 分）